

推奨・推薦製品を使った店舗防犯対策・ロス対策の強化のお願い ～ダミー製品や見せかけ表示の使用はお控えください～

万引防止システムをお使いいただきありがとうございます。

工業会日本万引防止システム協会(以下、工業会JEAS)の加入会員企業ではその製品・サービスの品質・機能において万全を期して設置・導入を進め、防犯対策やロス率の改善に寄与いたしております。



さて、2022年に警察が認知した刑法犯は前年比3万3285件(5.9%)増の60万1389件で、20年ぶりに増加に転じております。殺人など6種類の重要犯罪のうち強盗は前年比10件増の1148件で、各地で相次ぐ広域強盗事件の一部が含まれており、その被害は店舗事務室でも起こっております。

さらには万引などの店舗犯罪も増加しており、ロス金額やロス率が増加に転じつつあります。

しかしながら、長らく続いた犯罪率の低下に加えて、円安による急激な物価上昇と消費の停滞による経済環境の厳しさが増す中、

-  経費節減のために、防犯カメラやEAS(万引防止機)などはダミーでも良いのではないかと
 -  カメラを入れなくても「防犯カメラピント調整中」などの見せかけ表示でも良いのではないかと
 -  保安員をやめて警備員巡回中の店内放送だけにしたらどうだろうか
- などのお声を聞くようになっております。

しかし、それを実施するのは、賢明な策ではありません。何故なら、各種犯罪が増加に転じているなかで、**万が一事件があっても、ダミー製品では確認・対処ができないからです。**

それは企業の社会的責任を果たす上で、好ましくありません。

お客様・従業員・商品を安全に守ってこそ、地域に信頼される店舗と言えるのではないのでしょうか。

工業会JEASが認定した製品・サービスには、専用のステッカーがあります。
僭越ではございますが、これらの確かな品質の製品・サービスをご利用いただくことをお願い申し上げます。



デザインA



デザインB

お
勧
め

- カメラやLED防犯灯などの優良防犯機器認定制度は、工業会JEASの特別会員である日本防犯設備協会のサイトを御覧ください。 <https://www.ssaj.or.jp/rbss/index.html>
- ロス対策士に関しては、全国万引犯罪防止機構のサイトを御覧ください。 <http://www.manboukikou.jp/>

テーマは広く、より深く

特集



セルフレジの不正

買い物客が自ら購入品の読み取りから精算までを行う「セルフレジ」。業務の省人化につながるからスーパーマーケットなどで導入が進む一方、一部の不正行為が課題となっている。日本万引防止システム協会(JEAS・東京都新宿区、稲本義範会長)はセミナーを開いてセルフレジの不正手口や対策などを解説した。不正行為の拡大を阻止する取り組みを取材した。

【瀬戸雅彦】

JEASは8月25日、東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催された「営業・マーケ/広告・販促/店舗・EC・DX・PO」(主催:フティックス)の会場内で「セルフレジ不正をどう防止するか・最新テクノロジー」と題したセミナーを開いた。

講師はセキュリティ事業を展開する三宅(広島市安佐南区、三宅正光代表取締役)・東京本社常務取締役JEAS・DX推進プロジェクトリーダーの田中



田中 崇講師



JEASが作成した冊子

セルフレジには①セミセルフレジ②フルセルフレジ(固定式)セルフレジ③移動式セルフレジの3種類がある。「セミセルフレジ」は、商品登録(バーコードスキャン)を店舗のレジ係が担当

し客が精算する。スーパーマーケットに始まり、ドラッグストアやコンビニエンスストアにも導入が広がった。「フルセルフレジ」は、商品登録も支払い精算も客が行う。「移動式セルフレジ」は、客が売り場を移動しながらその場で商品登録し、レジでは精算のみを行う。使用する端末は店舗が用意する場合と客のスマートフォンなどを利用する場合がある。

コロナ禍で対面・接触を敬避する状況もあり、2022年の導入率はセミセルフレジ75・1%、フルセルフレジ25・2%、

「防止対策」「導入促進」両立を

繰り返されるセルフレジの不正を防ぐには、JEAS認定の推奨顔認証システムを活用した科学保安警備の導入が効果的だ。

科学保安警備は、常習的な万引犯罪を防ぐためJEASが認定した顔認証システムを活用する保安警備のこと。あらかじめ警戒対象人物を事前に顔認証システムのデータベースに登録し、店舗出入口に設置した防犯カメラで登録者を検知した際に、警備本部や他の警備員など指定のスマートフォンにメールなどで通知する。

JEASは毎年、「科学保安警備講習会」を実施している。顔認証システムを活用し、効果的に安全に保安業務を行う科学保安員を育成することが講習会の目的だ。第3回となる今年の講習

会は、11月16日(木)午後1時から午後5時まで、高千穂交易(東京都新宿区内)で開催する。受講対象者は、保安警備や施設警備などの業務に従事する警備員や警備関係者などで、オンライン(Teams)での参加も可能だ。参加費用は非会員で1万円(税込)／人。

科学保安講習会の参加は全国警備業協会発行の「保安警備業務の手引・第2版」を理解していることが条件となる。理解が不足していると思われる人は10月19日(木)午後2時から午後4時まで同会場で「保安警備業務の手引・第2版講習会」に参加できる(参加費無料)。

▽問い合わせ先 JEAS事務局 ☎03-3325-2332

「科学保安員」になろう

顔認証システムを活用し、効果的に安全に保安業務を行う科学保安員を育成することが講習会の目的だ。第3回となる今年の講習



盛況となったセミナー

優良システム普及へ

JEASは「推奨顔認証システム制度」を定めている。同制度は、小売業が万引き防止を目的に使用する顔認証システムを審査する自主認定制度だ。「システム認定基準」と運用認定基準を設定し、システムの性能が機能・運用の両面を満たしているかを審査する。小売業は審査に合格した顔認証システムを安心して利用することができ、優良システムの普及促進にもつながる。

JEASは2020年に個人情報保護委員会から認定を受けた「認定個人情報保護団体」の立場から、システムがプライバシーに配慮した適正な運用が可能かどうかを審査する。2020年に推奨顔認証システムの認定基準作りと初の審査が行われた。21年度からは審査項目に新たにマスク着用試験が加わった。

現在、下表にある5システムが認定を受けている。第4回となる今年は9月4日から8日に審査が行われ、11月16日の第3回科学保安講習会会場で結果が発表される予定だ。

推奨顔認証システム認定製品

No	企業名	製品名
1	パナソニック コネク	Face PRO
2	日本電気	NeoFace KAOATO
3	グローリー	来訪者検知システム
4	GeoVision	AI PR Server
5	リアルネットワークス	AI顔認証ソフトウェア SAFR



「推奨顔認証システム」ステッカー

▽大型のディスプレイを天井から吊して設置したり、セルフレジ一台に小型モニターを置いて手元を客本人に見せることで不正を抑止する。

▽不正行為の動作をAI機能搭載カメラで検知する。

そのほか、使用していないレジは通過できないようにする、レジ手前(未精算)とレジ後方(精算済み)の間を容易に行き来できないようにする、入口と出口の動線を分ける、などの物理的コントロールも必要だ。

フライバイシーへの配慮として、防犯画像を撮影する場合防犯カメラ稼働中などの告知を防犯カメラの近くの買い物客から見える位置に掲示する。

セルフレジの近くに待機する担当サービス係の事前教育も重要だ。サービス係を優先する中で不審な客を発見した場合は、定められた対応を行うよう指導する。利用客の表情観察は重要で、担当サービス係や周囲をチラチラ見る場合は「お手伝いしましょうか」など積極的な声掛けを行う。不正が疑われる違和感のある客の特徴は記録して情報を共有しておく。